令和８年度　　水口高等学校　学校評価

本年度の重点目標

・生徒の学力の伸長を図り、個に応じた進路指導により希望進路の実現に努める。
・基本的生活習慣の確立、規範意識の高揚を図り、社会に貢献できる人材の育成に努める。
・部活動、特別教育活動をとおして、多様な人々と協働して生きる力を育む。

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	学校は保護者、生徒、地域のニーズに合った特色ある教育活動を展開している。	A		
	学校は教育目標や重点的な取組をわかりやすく伝え、魅力ある学校づくりを行っている。	A		
2　学習指導	教育課程は生徒一人ひとりの学力の伸長を図るものになっている。	A		
	教職員は授業を改善し、わかる授業を工夫して行っている。	A		
3　生徒指導	挨拶や時間厳守など、社会に通用する指導を適切に行っている。	A		
	生徒が悩みや困ったことを相談できる教職員がいる。	A		
	いじめ問題の防止、早期発見・対応に関する体制を取っている。	A		
4　進路指導	生徒の進路希望を実現するよう適切な指導を行っている。	A		
	生徒や保護者に的確な進路情報を伝え、きめ細やかな指導ができている。	A		
5　特別活動等	生徒は部活動や生徒会活動を活発に行っている。	A		
	学校行事は生徒にとって楽しく充実したものとなっている。	A		
6　学校図書館	授業や行事等において図書館利用の啓発や活用が進められている。	A		
	生徒が本に親しみ、読書習慣をつけさせる指導を行っている。	A		
7　保健・安全指導	生徒の健康管理に関わる指導ができている。	A		
	生徒の交通安全や事故防止、防災・危機対応についての指導ができている。	A		
8　人権教育	明るく活気あるクラスや仲間づくりを行っている。	A		
	教科指導や行事・ホームルーム活動等をとおして、人権意識を高める指導を行っている。	A		
9　環境教育	環境に配慮した取組を進め環境の大切さを理解し実践している。	A		
	日常の清掃活動などをとおして環境美化に対する姿勢や態度を養っている。	A		
10　事務・管理	良好な教育活動に必要な施設・設備の整備を行っている。	A		
	生徒の持ち物の管理が適切に行われている。	A		
11　その他 学校の取組	教育活動について、地域に積極的に情報発信をしている。	A		
	地域に根ざした教育活動を実施し、開かれた学校づくりに努めている。	A		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はA、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はB、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はC、達成できていない場合（達成度40%未満）はDとする。

学校のＵＲＬ：https://www.minakuchi-h.shiga-ec.ed.jp/